

平成26年度 新人看護師年間教育計画

<1年後の到達目標> 基本的な援助技術を習得し、安全でやさしい看護を提供できる

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
到達目標	1. 社会人としての接遇を身につけることができる 2. 病棟の雰囲気慣れることができる 3. 基本的な疾患について自己学習できる	1. 日勤業務が分かる ①基本的な療養上の生活援助が理解でき、指導のもと実施できる ②病棟の主治患の基本的な知識を得ることができる 2. 感染対策について理解する	①基本的な療養上の生活援助が一人でできる②複数人数の患者を受け持つ事ができる 2. 褥創対策について理解する 3. 医療安全について理解する	①受け持ち患者の優先順位を考慮して1日の業務を組み立てることができる 2. 緊急時・急変時の指示を受けて行動できる	1. 3か月の振り返りができる 2. 経験を重ね技術習得を目指す	1. メンバーシップを理解する 2. 急変時の看護について理解する	1. 夜勤業務が分かる 2. 受け持ち看護師として指導のもと入院～退院までの一連の流れを理解する	1. 6か月の振り返りができる 2. 災害看護について理解する	1. 受け持ち看護師として看護展開ができる(フォローのもと)	1. 受け持ち患者の看護を振り返りサマリーの記入ができる	1. 1年の振り返りができる 2. 1年の振り返りレポートを指導のもとまとめる	1. 2年目に向けて自己目標の設定ができる
行動目標	1. 社会人として責任ある態度をとることができる ①患者・家族スタッフにあいさつができる ②体調管理ができ、毎日出勤できる ③身だしなみを整えることができる 2. 職場の規律を理解し守ることができる ①守秘義務など ②病院の職員として自覚が持てる 3. 自己学習及び自己研鑽の必要性と方法をすることができる(ポートフォリオの記入)	1. 日勤業務を理解する ①ホウレンソウが指導の元でできる ②指導のもと日勤業務が実践できる(一つ一つの行為根拠を持って実施できる) ③人間関係(他スタッフや患者)コミュニケーションがとれる ④指導を受けながら看護記録が正確にできる ⑤指導のもと検査出しが行える 2. ①スタンダードプリコーションが理解でき実践できる	1. 日勤業務を理解する ①勤務帯での自分の役割を指導を受けながら理解をすることができる ②受け持ち(複数部屋)できる ③指導のもと、入院を受ける 2. ①褥創対策について考えることができる 3. ①インシデントレポートが指導のもと記入できる	1. 日勤業務を理解する ①頻度の高い基本的看護技術を習得する ②複数の受け持ち患者の優先順位をつけ、考えて行動できる(時間管理ができる) 2. ①指導のもと緊急時指示を受けて対応することができる ②緊急時や状況の急激な変化に遭遇した時の連絡方法が言える ③救急カートの点検ができる	1. 指導者とともに3か月の振り返りが出来る 2. 課題を明確にし主体的に学ぶことができる	1. ①各勤務帯で自己の役割を理解し、自らの仕事を行う事ができる ②各勤務時、分からない事を他のスタッフに聞くことができる 2. 急変時の対応の流れを理解する	1. ①夜勤の流れを知る一夜勤務導入し指導のもと夜勤を実施する 2. ①受け持ち看護師の役割を理解する ②実地指導者とともに受け持ち患者の看護が展開できる	1. 指導者とともに6か月の振り返りができる 2. 防災訓練に参加し、災害時の自己の役割について理解する(指導のもと)	1. ①プライマリーNSとして一人の患者さんの看護展開ができる ②ケースカンファレンスやデイカンファレンスに参加して問題提議ができる(受け持ち患者の)	1. ①受け持ち患者の看護を振り返ることができる	1. 指導者とともに1年の振り返りができる 2. 指導を受けながら1年の振り返りレポートをまとめることができる	1. 2年目に向けて自己目標の設定ができる
勤務	・日勤のみ	・日勤のみ ・2～4人受け持つ(W)	・日勤のみ ・4～7人受け持つ(W)	・日・祝日の日勤開始 ・4～7人受け持つ(W)	・選番・選日勤の見学 ・日勤一人立ち(S)	・選番・選日勤開始	・夜勤の見学	・夜勤開始				
集合教育(off-JT)	・オリエンテーション(病院構造・情報管理、コスト管理、薬剤管理) ・接遇、コミュニケーション研修 ・看護倫理 ・医療安全 ・感染対策 ・検体の取扱 ・滅菌物の取り扱い ・看護記録 ・オーダーリングシステム ・看護必要度 ・看護基礎技術(採血、酸素吸入、胃管挿入・経管栄養、注射(皮下、皮下、筋肉、静脈)、点滴 ・ME機器(輸液ポンプ・シリンジポンプなど)	・看護技術 ・プリセプター研修 ・抗生剤の種類・用法と副作用について ・消毒薬の種類・作用・用途と取り扱いについて  ・NST ・褥創予防、スキンケア ・フォローアップ研修(今の思いを伝えることができる。茶話会)(嬉しかったこと・悩み・不安)	1か月研修	・インスリンの種類と薬理作用 ・輸血 ・ハイリスク薬の管理	3か月研修	・KYT研修 ・3カ月で経験した項目をチェックリストで確認・評価する ・夜勤業務オリエンテーション	・急変時の看護 ・BLS研修	・フォローアップ研修(夜勤導入に対し自己の振り返り、今後の課題を明確にする)	・看護過程の展開 ・災害対策 ・6カ月で経験した項目をチェックリストで確認・評価する	・多重課題 ・他部署見学	1年研修	・フォローアップ研修(1年を振り返り、次年度に向けての課題が見出せる)
現場教育(OJT)												
看護基本技術 水準1(厚生労働省による)	環境調整技術	<input type="checkbox"/> ベッド周囲の環境整備(温・湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備) <input type="checkbox"/> 基本的なリネン交換	<input type="checkbox"/> 基本的なベッドメイキング									
	食事援助技術	<input type="checkbox"/> 疾患別の食事の理解 <input type="checkbox"/> 対象の個性に応じた食事の工夫と援助										
	排泄援助技術	<input type="checkbox"/> 便器・尿器を当てる介助 <input type="checkbox"/> おむつ交換 <input type="checkbox"/> 留置カテーテル挿入中の観察(尿の性状・量) <input type="checkbox"/> 導尿										
	活動休息援助技術	<input type="checkbox"/> 車いすでの安全な介助・移送 <input type="checkbox"/> ボディメカニクスの知識や技術を用いた体位変換 <input type="checkbox"/> ストレッチャーでの安全な介助・移送 <input type="checkbox"/> 食事・排泄・清潔・騒音などの環境を整え睡眠の質を高める										
	清潔・衣生活援助技術	<input type="checkbox"/> 清拭 <input type="checkbox"/> 洗髪 <input type="checkbox"/> 口腔ケア <input type="checkbox"/> 陰部ケア <input type="checkbox"/> 対象者の個性に応じた部分ケア <input type="checkbox"/> 入浴時の援助 <input type="checkbox"/> 寝衣交換										
	呼吸・循環を整える技術	<input type="checkbox"/> 酸素吸入療法中の管理(対象の観察・指示量や加湿・接続の確認) <input type="checkbox"/> ネブライザーの実施 <input type="checkbox"/> 吸痰										
	創傷管理技術	<input type="checkbox"/> 滅菌物の取り扱いができる <input type="checkbox"/> 褥瘡ケア										
	与薬の技術	<input type="checkbox"/> 原理・原則に基づいた与薬 <input type="checkbox"/> 経口薬の与薬 <input type="checkbox"/> 皮下注射 <input type="checkbox"/> 静脈注射の準備と介助 <input type="checkbox"/> 中心静脈内注射の準備・介助・管理 <input type="checkbox"/> 抗生剤の種類・用法と副作用についてのアセスメント <input type="checkbox"/> 経口薬の与薬 <input type="checkbox"/> 皮下注射 <input type="checkbox"/> 筋肉注射 <input type="checkbox"/> 点滴静脈注射の準備・介助・管理 <input type="checkbox"/> 輸液ポンプの準備と管理 <input type="checkbox"/> 消毒薬の種類と作用・用途・取り扱い	<input type="checkbox"/> 外用薬の与薬(点眼・塗布・座薬など) <input type="checkbox"/> 筋肉注射	<input type="checkbox"/> インスリンの種類・用法と副作用についてのアセスメント <input type="checkbox"/> 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察 <input type="checkbox"/> 麻薬の副作用・副作用の観察薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)								
	救命救急処置技術	<input type="checkbox"/> 意識レベルの観察 <input type="checkbox"/> 呼吸状態の観察 <input type="checkbox"/> 脈拍の観察	<input type="checkbox"/> 救急カートの場所と物品内容の把握	<input type="checkbox"/> 気道確保 <input type="checkbox"/> 胸骨圧迫 <input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 除細動器	<input type="checkbox"/> チームメンバーへの応援要請							
	症状・生体機能管理技術	<input type="checkbox"/> 体温・脈拍・呼吸・血圧を正しく測定 <input type="checkbox"/> 測定値の評価、記録と報告 <input type="checkbox"/> 身長・体重を正しく測定 <input type="checkbox"/> 測定値の評価(栄養状態や発達の状態) <input type="checkbox"/> 症状・病態を正確に観察 <input type="checkbox"/> 採血検体の取り扱い <input type="checkbox"/> 観察した症状、アセスメントの記録と報告 <input type="checkbox"/> 動脈血採血(血ガス・培養)の準備と検体の取り扱い <input type="checkbox"/> 採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い <input type="checkbox"/> 24時間持続モニターによる測定										
安楽確保の技術	<input type="checkbox"/> 対象に合わせた安楽な体位の保持 <input type="checkbox"/> 温電法・冷電法											
感染予防の技術	<input type="checkbox"/> スタンダードプリコーションが実施できる <input type="checkbox"/> 適切な手洗い方法 <input type="checkbox"/> 防衛用具(ガウン、手袋、ゴーグルなど)の使用 <input type="checkbox"/> 使い捨て注射器、注射針、刃など耐貫通性の専用廃棄容器に廃棄											
安全管理の技術	<input type="checkbox"/> 転倒・転落防止策の実施 <input type="checkbox"/> インシデント(ひやり・はっと)事例や事故事例の報告	<input type="checkbox"/> 誤認防止策の実施										
必要最低限の項目各病棟で追加可	・オリエンテーション(病棟の構造・情報管理) ・接遇 ・勉強会、自己学習  ・勉強会・自己学習 15分間の振り返り(ポートフォリオの記入)	・看護技術 ・情報収集、1日の計画立案 ・VS測定 ・日常生活援助(食事・排泄・清潔・移動時の援助など) ・褥創予防(体圧分散マットレスの選択や除圧の方法など) ・看護過程 ・感染予防技術(スタンダードプリコーション)	・診療の介助(採血、点滴確保時・回診時など) ・輸液ポンプ・シリンジポンプ ・褥創予防(体圧分散マットレスの選択や除圧の方法など) ・1か月評価	・急変時の対応について(連絡の方法、意識レベルの把握方法、救急カートの点検など)	3か月評価	・災害看護(防災訓練)	・急変時の看護(シュミレーション) ・人工呼吸器	・プライマリーNsとしての看護展開 6か月評価	・受け持ち患者の振り返りを 実地指導者を行う	1年評価		
評価方法	1. 2. 観察 3. ポートフォリオの提出	1. 看護技術:チェックリストを用いて評価する 2. 質問・シュミレーション	1. ①チェックリストで確認、②面談 2. 質問 3. インシデントレポート提出の有無	1. 看護技術:チェックリストを用いて評価する 2. 質問	1. 2. 日勤業務:観察・質問 3か月評価①チェックリストで確認 ②面談	1. 質問・行動 2. 防災訓練前にテストを実施、行動・シュミレーション	1. メンバーシップ:観察・質問 2. 質問・シュミレーション	1. 6か月評価①チェックリストで確認②面談、ラダー表の確認 2. メンバーシップ:観察・質問	プライマリーNsの役割と看護展開:観察、看護計画、記録	①振り返り:観察、質問 ②観察、質問	1. 振り返り:観察・質問。 1年評価①チェック表で確認 ②面談、ラダーで評価 2. 質問・行動・記録	
評価時期	4/下旬	5/下旬	指導者会の前	7/下旬	8/下旬	1. 夜勤研修後 2. 防災訓練前後	シュミレーション後	1. 11/2週目 2. ①11/3週目 ②11/4週目	12/下旬 (カンファレンスの時期に合わせて)	1/下旬	1. 2/2週目 2. ①2/3週目 ②2/4週目	
評価者	実地指導者	1. 実地指導者 2. 感染対策委員	1. 教育担当者 2. 褥創委員	実地指導者	1-①実地指導者 ②教育担当者・研修責任者	1. 教育担当者または夜勤担当者	実地指導者	①実地指導者 ②教育担当者 ③指導者会 2. 防災訓練担当者	担当者	実地指導者	①実地指導者 ②教育担当者・研修責任者	